
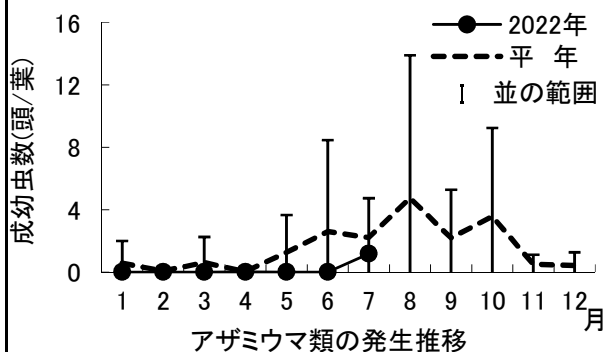


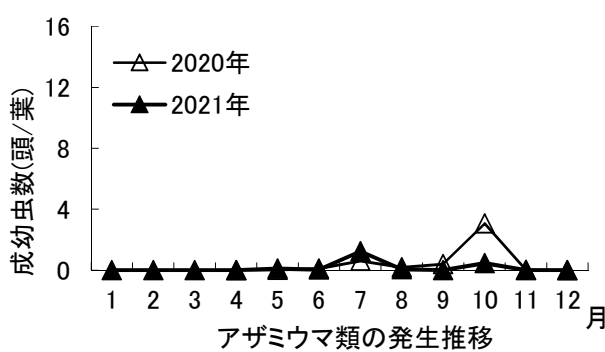
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

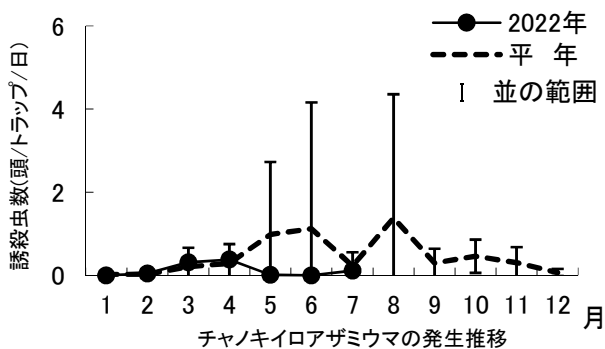
見取り調査：今期と平年の推移



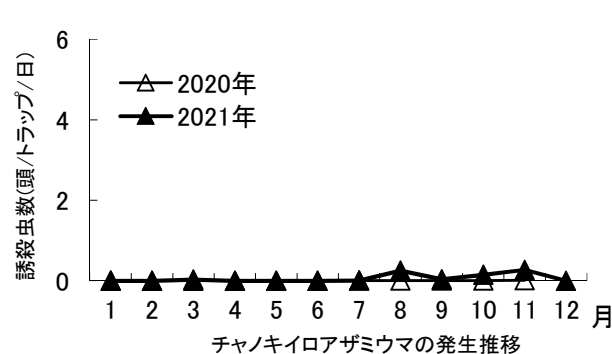
見取り調査：過去 2 年の推移



トラップ調査：今期と平年の推移



トラップ調査：過去 2 年の推移




・発生施設率40.0%(平年:75.0%)

防除のポイント

- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 収穫期に発生が多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

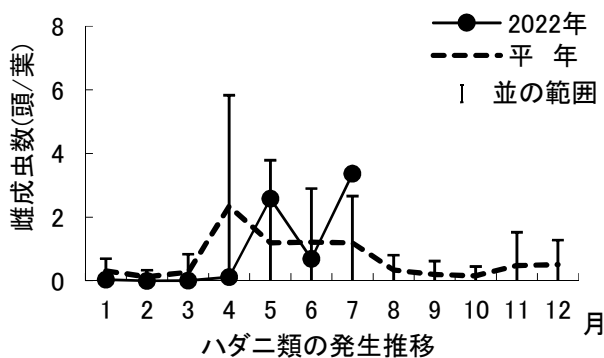


ナガエコミカンソウ

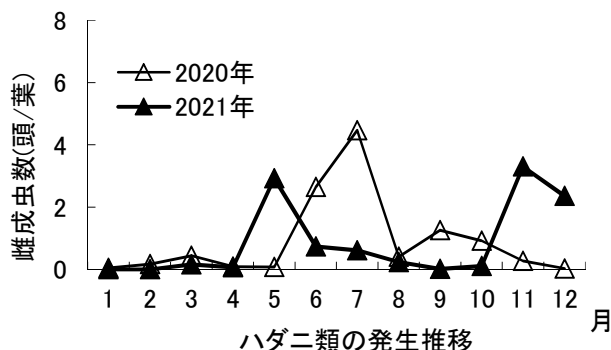
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② ハダニ類		
調査結果	7 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	7 月からの増減傾向	↓	
	8 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



・発生施設率80.0(平年:49.0%)

防除のポイント

- ・収穫終了後の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状



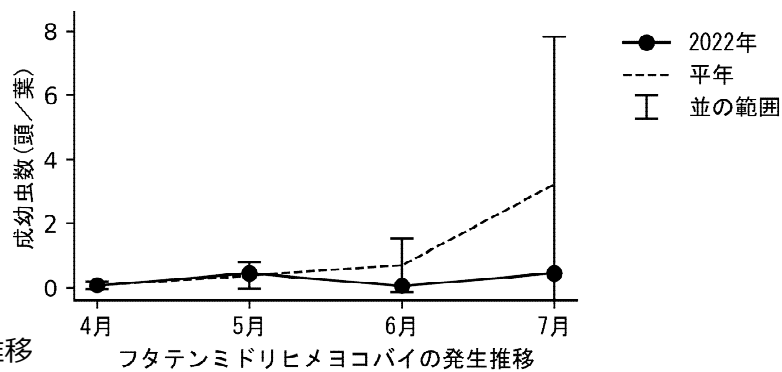
マンゴーツメハダニ

作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	7月の発生量(平年比)	並	
予報	7月からの増減傾向	—	
	8月の発生量(平年比)	—	
予報の根拠			

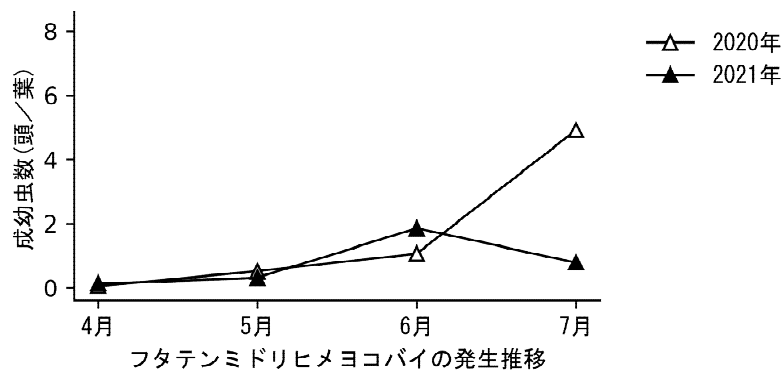


調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



・発生ほ場率85.7% (平年 : 79.4%)

防除のポイント

・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

